

◆教材名 『花火に込めた平和への願い』

◆主題 世界平和のために

◆ねらい 国際的視野に立って、他国を尊重することと世界平和の大切さを理解するとともに、よりよい社会形成や人類の発展に貢献しようとする実践意欲を高める。

●導入 「長岡花火プロモーションビデオ・夏3分25秒バージョン」を視聴

(動画は PowerPoint「長岡花火」ファイルにハイパーリンクを貼り付けています)

毎年100万人の観客が押し寄せる長岡の花火大会。

どうして、何を目的に大会は開かれているのだろうか？

☞ 観光客を呼び込むため、地域を活性化するため、町を有名にするため

★ 範読後、もう一度同じ問いを繰り返す。

⇒ 戦争殉難者の慰霊のため。

中越・東日本震災後は震災で亡くなった人々の慰霊の意味も。

●範読 (約8分)

●場面発問①

花火をあげることで、どうして死者を悼むことになるのだろうか？

☞ 人を弔い、悼むときには火を使う。線香やろうそくなど。

花火は夜空に打ち上げられる。夜空は死者の世界を想起させる。

●場面発問②

p.74『こんな悲しい現場で、かつては敵だった国の私たちに、どうしてこんなに温かく接してくれるんだろう』

あなたは、なぜだと思えますか？

☞ 過去は変えられないから。今は敵ではないから。敵対していたのは自分たちではないから。今から、もっといい関係を作りたいから。

●場面発問③

p.75『過去から学びながら、未来を見つめて、日本ともっともっといい関係を作っていきたい』

「過去から学ぶ」とはどういうことだと思えますか？

☞ 戦争被害の悲惨さを知る。戦争になった原因を知る。戦争を防ぐにはどうすれば良かったのかを考える。戦争を回避するための知恵を学ぶ。

●主題発問

どのように過ごしていくことが世界平和につながるのか、自分にできることを考えてみよう。

●感想

●まとめにかえて

「長岡造形大学の学生と202名の小学生がつくった長岡花火！」(2分11秒)を視聴

(動画は PowerPoint「長岡花火」ファイルにハイパーリンクを貼り付けています)

◆ふりかえり

・計画では7月に実施予定だった授業であるが、諸般の事情により9月にずれ込んだ。季節的なものもあるので、7月に授業するのがベスト。

・「長岡花火プロモーションビデオ」は、授業前、休み時間の時間帯から（生徒をそこそ落ち着かせて）流してもよかったかも。改まって「鑑賞」するのではなく、雰囲気作りとして用いるやり方もよかった。

・人と人とのつながりをより強くすることが平和をつくり出す必要条件であることを前面に押し出してもよかった。プロモーションビデオのそここで強調されていることがそれであるし、文化活動が相互理解を推し進める理由もそこにあるから。